

つ つなげよう未来へ！  
し 市民協働による  
ま まちづくり



令和5年度

# 組織目標の成果

～「持続可能なしまづくり」を目指して～



長崎県対馬市

… 自立と循環の宝島 対馬 …

# ～ 目 次 ～

I	組織目標の評価一覧	・・・・・・・・	1				
II	組織目標の成果（個票）	・・・・・・・・	3				
1	総務部	・・・・・・・・	3	17	農業委員会事務局	・・・・・・・・	57
2	しまづくり推進部	・・・・・・・・	8	18	選挙管理委員会事務局	・・・・・・・・	58
3	観光交流商工部	・・・・・・・・	13				
4	市民生活部	・・・・・・・・	17				
5	福祉部	・・・・・・・・	22				
6	保健部	・・・・・・・・	25				
7	農林水産部	・・・・・・・・	28				
8	建設部	・・・・・・・・	33				
9	水道局（部）	・・・・・・・・	37				
10	中対馬振興部	・・・・・・・・	39				
11	上対馬振興部	・・・・・・・・	42				
12	会計管理者	・・・・・・・・	47				
13	消防本部	・・・・・・・・	48				
14	教育委員会事務局	・・・・・・・・	51				
15	議会事務局	・・・・・・・・	55				
16	監査委員事務局	・・・・・・・・	56				

令和5年度 対馬市組織目標の評価一覧

部署	コード		目 標	評 価
	全体	個別		
総務部	1	01-01	合併20周年記念事業の実施計画の策定	◎
	2	01-02	市職員が関与する任意団体の適正な事務執行に向けた取組	○
	3	01-03	健全な財政運営と財政状況のわかりやすい公表	◎
	4	01-04	入札制度の見直し	○
	5	01-05	公園等公共施設の維持管理	○
つばしん推進部	6	02-01	対馬3高校魅力化推進事業	◎
	7	02-02	様々な機関や業種団体と連携した産業の振興	△
	8	02-03	地域公共交通計画の策定	○
	9	02-04	SDGsの推進	△
	10	02-05	デジタル活用支援の実施	◎
観光交流商工部	11	03-01	観光客受入体制の整備	○
	12	03-02	国内外の交流の促進	○
	13	03-03	教育普及事業・調査研究業務の推進	◎
	14	03-04	よりあい処つしまを核とした観光・物産情報の受発信	○
市民生活部	15	04-01	窓口サービスの質の向上	○
	16	04-02	徴収率の向上	△
	17	04-03	「ごみゼロアイランド対馬」の実現	○
	18	04-04	対馬海ごみシンポジウムの開催	◎
	19	04-05	来庁者の満足度向上と事務の確実な処理及び効率化	△
福祉部	20	05-01	障がい者の生きがいの創出	○
	21	05-02	子育て環境の充実	○
	22	05-03	生活困窮者の自立支援及び適正な保護決定・実施	○

部署	コード		目 標	評 価
	全体	個別		
保健部	23	06-01	特定健診の受診率向上	△
	24	06-02	オンライン資格確認システムの整備	○
	25	06-03	対馬市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定	○
農林水産部	26	07-01	対馬しいたけ振興事業	△
	27	07-02	学校給食地産地消推進	○
	28	07-03	生物多様性の保全	○
	29	07-04	水産業者や漁村への支援	◎
	30	07-05	磯焼け対策の実施	○
建設部	31	08-01	市営住宅使用料未収金の縮小	△
	32	08-02	公共工事の早期発注と早期完成（建設課）	○
	33	08-03	基盤整備工事の早期発注と早期完成	△
	34	08-04	公共工事の早期発注と早期完成（北部建設事務所）	○
（水道局）	35	09-01	水道料金の収納率の向上	△
	36	09-02	水道事業の有収率の向上	△
中対馬振興部	37	10-01	中対馬未来づくりアクションプランの推進	○
	38	10-02	受付業務の向上と徴収率の向上及び環境美化推進	△
	39	10-03	窓口サービスの満足度向上と税・水道料金の納付促進	△
上対馬振興部	40	11-01	対馬の自然を生かした観光地の整備（三宇田浜園地）	○
	41	11-02	対馬の自然を生かした観光地の整備（鰐浦園地）	○
	42	11-03	国内外の交流の推進	○
	43	11-04	窓口サービスの適正化・迅速化と電話対応の向上	○
	44	11-05	固有の遺跡や文化財の保存と活用	△

評価集計表

部署	コード		目 標	評 価
	全体	個別		
会計	45	12-01	安全で効率的な公金管理と適正な会計事務	△
消防本部	46	13-01	地区消防団員の増員及び認定事業所の増加	×
	47	13-02	消防、救命に関わる隊員のスキルアップ研修会の実施	○
	48	13-03	防火対象物及び危険物施設に関する違反是正	×
教育委員会事務局	49	14-01	島っこ留学制度による留学生の招致推進	△
	50	14-02	ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成	◎
	51	14-03	生涯・競技スポーツの普及振興	△
	52	14-04	対馬固有の遺跡や文化財の保存と活用	△
議会	53	15-01	議会運営の充実と市民に開かれた議会	○
監査	54	16-01	監査等の実施における適正な事務補助	○
農委	55	17-01	農地等の利用の最適化の推進	○
選管	56	18-01	投票参加の促進	◎

項 目		結 果
◎	目標を上回る実績	9
○	目標どおりの実績	28
△	目標を下回る実績	17
×	目標を著しく下回る実績	2
—	評価不能	0
計		56

令和 5 年度 総務部 組織目標と成果

課名等	総務課	全体	1
		個別	01-01

指標に対する実績	事務局（総務課）において計画書案を作成し、令和5年7月13日開催の検討委員会において実施計画書に関する協議を行い、令和5年9月に事業詳細の未確定分を除く実施計画書の策定が完了しました。あわせて、市民等に周知するため令和5年9月に対馬市ホームページへの掲載を行いました。	
	評価	検討委員会での検討を踏まえて実施計画書を策定し、市民等への周知を行ったのちに、掲載内容に変更が生じたため、随時更新を行いました。
評価記号	◎	
今後の展開	令和6年度は市制施行20周年記念事業の実施年度であることから、実施計画書を基に各種事業を実施予定としております。	

総合計画の区分	挑戦	対象外												
	最優先課題	対象外												
項目		合併20周年記念事業の実施計画の策定												
取組の内容		令和6年度に市制施行20周年記念事業を実施するにあたり、事業骨格を示すため実施計画を策定します。策定後は、ホームページ等を活用し広く周知します。												
指標（数値目標）		令和5年7月末までに、事務局（総務課）において素案を作成。検討委員会での検討を踏まえ実施計画書を策定し、9月末までにホームページ等による周知を行います。												
SDGs指標								達成時期			令和5年9月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
実施計画素案の作成		→												
検討委員会での検討を踏まえ実施計画書を策定						■	■							
実施計画書の周知							■							

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 5 年度 総務部 組織目標と成果

課名等	総務課	全体	2
		個別	01-02

総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		対馬市職員が関与する任意団体の適正な事務執行に向けた取組											
取組の内容		職員が関与する任意団体の事務執行について、内部及び外部の監査を実施するとともに、適正な事務執行の指導を行うことにより、事務の適正化、事故の防止に取り組みます。											
指標（数値目標）		<p>【内部監査】総務課職員により各課で取り扱う任意団体事務について監査を行います。（86団体、年1回）</p> <p>【外部監査】外部監査員（行政書士）に委託し、年間取扱い金額が100万円以上の任意団体について、内部監査後、別途外部監査を実施します。（40団体、年1回）</p>											
SDGs指標								達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内部監査						→							
外部監査								■					
監査結果取りまとめ									→				
監査結果公表											→		

指標 に対する 実績	<p>【内部監査】7月～11月に、73団体について内部監査を実施し、不適切な事務等について168件の指摘を行い、改善を求めました。</p> <p>【外部監査】1月に、29団体について、リーガルナビ行政書士法人に委託し、外部監査を実施しましたが、帳簿等の記入漏れ及び押印漏れ等が散見されるとともに、事務処理について改善の必要性が認められる複数の団体について指摘を受け、改善を求めました。</p>	
	<p>昨年度に引き続き監査を行いました。依然として軽微なものも含め、適切な事務が遂行されていない状況であり、継続して内部監査及び外部監査を実施する必要があります。</p>	
価		
	評価記号	○
今後の展開	<p>令和6年度についても、軽微なミスも含めて、不適切な事務の取扱件数が減少し、職員の意識向上を図ることができるよう内部監査を継続します。</p>	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 5 年度 総務部 組織目標と成果

課名等	財政課	全体	3
		個別	01-03

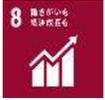
総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		健全な財政運営と財政状況のわかりやすい公表											
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>市の財政状況や予算・決算などについて、広報・ホームページに見やすく、わかりやすく掲載し、市民が関心や理解を深められるように公表します。</li> <li>令和3年度策定した第4次対馬市中期財政計画の進捗状況を注視しながら健全な財政運営を実施します。</li> </ul>											
指標（数値目標）		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度当初予算の概要（HP・広報）5月</li> <li>予算の執行状況（HP・広報）5月・11月</li> <li>令和4年度決算（HP・広報）1月</li> <li>令和4年度財務書類（HP）3月</li> <li>対馬市中期財政計画の見直し及び公表（HP）3月</li> </ul>											
SDGs指標								達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
健全な財政運営		→											
ホームページ及び広報による財政状況の公表			■						■		■		■
わかりやすい予算概要版の作成及び配布			■										
統一的な基準による財務書類作成及び公表													■
第4次中期財政計画の見直し		→											

指標 に対する 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度当初予算の概要 ホームページと市報に掲載しました。</li> <li>予算の執行状況 ホームページと市報に掲載しました。</li> <li>令和4年度決算 ホームページと市報に掲載しました。</li> <li>令和4年度財務書類 ホームページに掲載しました。</li> <li>対馬市中期財政計画の見直し及び公表 ホームページに掲載しました。</li> </ul>	
	評価	<p>本市の財政状況や当年度の事業内容等を広報やホームページでグラフ等を用いた表示により市民にわかりやすく公表し、中期財政計画についても、現状との乖離を防ぐために計画額を単年度更新し、全般において目標をクリアすることができました。</p>
評価記号	◎	
今後の展開	<p>今後ますます厳しい財政状況となることが予想されるので、対馬市中期財政計画を指針として、健全な財政運営を実施し、市の財政状況について市民にわかりやすい形で公表していきます。</p>	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 5 年度 総務部 組織目標と成果

課名等	財政課	全体	4
		個別	01-04

総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		入札制度の見直し											
取組の内容		一年を通して入札制度の検証を行い、公正性の確保・客観性・透明性が向上するよう運用します。また、現下の経済情勢を考慮し、国・県と歩調を合わせ、適正な落札率となるように改善します。また、入札参加資格者申請についても適宜検証を行い、必要に応じ改善します。さらに、業者の格付けについても検証し、格付けに偏りがあれば見直します。											
指標（数値目標）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・最低制限価格設定基準を最新の中央公契連モデルへ改めるための検証を行い、適正な最低制限価格率となるよう運用を図ります。</li> <li>・入札参加資格申請方法及び格付けについて検証を行い、必要に応じ改善します。</li> <li>・県内市町の電子入札導入状況に注視し、導入に向け検討します。</li> <li>・当初発注予定工事の入札実施目標 80件</li> </ul>											
SDGs指標		 						達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
最低制限価格の適正な価格設定の検討		▶											
入札制度全般に係る制度の検討		▶											
電子入札導入に向けた検討		▶											

指標 に対する 実績	<p>本課が取り扱った入札契約件数は、建設工事95件、建設工事関連コンサルの入札53件、物品・役務等65件でした。</p> <p>予定価格に対して各平均落札率は、建設工事で92.42%、コンサル業務、役務は89.43%で昨年度より上回る結果となりました。</p> <p>また、物価高騰による経済情勢を考慮し、工事別発注基準と最低制限価格設定基準を見直しました。電子入札について、導入及び運用費の概算額の算定を行いました。</p>	
	評 価	<p>落札率はほぼ昨年度と同水準であり、適正に推移しているものと考えますが、建設工事、コンサル業務・役務については昨年度より若干上回る結果となりました。建設工事の入札における工事費内訳書の提出により見積能力のないような不良・不適格業者の参入を排除し、併せて談合等の不正行為やダンピング受注がない入札を実施できました。</p> <p>建設業者等の信用及び技術力等を重視するとともに公正自由な競争を達成することができました。</p>
価	評価記号	○
今後の展開	<p>国・県や他市町の動向を注視しながら、公正性・公平性・客観性・透明性を確保するため、入札契約制度を検証します。</p>	

令和 5 年度 総務部 組織目標と成果

課名等	財産管理運用課	全体	5
		個別	01-05

総合計画 の区分	挑 戦	掲載外											
	最優先課題	掲載外											
項 目		公園等公共施設の維持管理											
取組の内容		管内の公園等の公共施設において、快適に利用していただくために環境美化に取り組み、安心安全な利用ができるよう住民福祉の向上のため、計画的に定期点検を実施します。											
指標（数値目標）		<b>【定期点検対象施設】</b> ・公園施設（34か所）：1回/4か月 ・集会施設（38か所）：1回/年 ・公衆トイレ（17か所）：1回/4か月											
SDGs指標								達成時期			令和6年2月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公園施設の点検			■				■				■		
集会施設の点検			■	■	■	■	■						
公衆トイレの点検			■				■				■		

指標 に対する 実績	・公園等公共施設定期点検実績 公園施設 各施設1回/4か月（年3回） 集会施設 各施設1回/年 公衆トイレ 各施設1回/4か月（年3回）	
	・管内施設の定期点検について、計画どおり実施し目標を達成することができました。	
評価 価	・管内施設の定期点検について、計画どおり実施し目標を達成することができました。	
	評価記号	○
今後の展開	・今後も定期点検を継続することで状況把握に努め、適切な維持管理につなげます。	

令和 5 年度 しまづくり推進部 組織目標と成果

課名等	政策企画課	全体	6
		個別	02-01

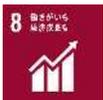
総合計画 の区分	挑 戦	ひとつづくり												
	最優先課題	次世代の担い手の郷土愛を育む												
項 目		対馬3高校魅力化推進事業												
取組の内容		毎年、島内中学生の約3割が島外の高校に進学している状況から、島内3高校は定員割れの状況が続いているため、対馬高校に陸上専門の指導者を配置し、島内3高校の魅力化を図るとともに、小中学校への出前授業等の普及活動により、島内進学率を上げ、人口減少の抑制に繋がります。また、3高校における課題の一つである遠征・合宿に係る経費に対して支援を行い、保護者の負担軽減を図ることで島内3高校への進学率向上に繋がります。												
指標（数値目標）		<b>【当該年度】</b> ○対馬高校へ陸上専門の指導者を招聘し、年間を通して陸上部の指導を行い、その中で3高校の運動部に対するフィジカルトレーニング指導を各1回実施します。 ○小中学校における普及活動（出前授業）を5回実施します。 ○島内3高校の部活動（遠征・合宿等）に係る経費の一部を助成します。												
SDGs指標		 				達成時期		令和6年3月						
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
対馬高校陸上部指導			→											
3高校の運動部に対するフィジカルトレーニング指導			→											
小中学生普及活動（出前授業）			→											
事業説明（校長会等）				■	■									
勧誘活動						→								

指標 に対する 実績	○スポーツ指導者を招聘し、年間を通して対馬高校陸上部のトレーニング指導、部活動運営のサポート等を実施しました。また、豊玉高校、上対馬高校陸上部と合同練習を実施しました。 ○小中学校における普及活動（出前授業）は、13校で延べ14回実施しました。 ○島内3高校の部活動に活動支援助成として、4,827,170円を助成しました。	
	評価	本年度実績は数値目標以上の結果となりました。しかしながら、本事業の目的である島内高校進学率の向上という点では、この取組以外の多方面からのアプローチも必要と考えます。
価値	評価記号	◎
今後の展開	今後も、対馬3高校魅力化推進事業に継続的に取り組み、島内高校進学率の向上を図り、島内人口減少抑制に繋がっていきます。	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 5 年度 しまづくり推進部 組織目標と成果

課名等	しまの力創生課	全体	7
		個別	02-02

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり											
	最優先課題	事業を承継・拡大して雇用を創出する											
項 目		様々な機関や業種団体と連携した産業の振興											
取組の内容		<p>事業者団体、金融機関、大学などの研究機関、行政、その他産業振興に携わる団体等で構成する「対馬市創業支援会議」において、創業や事業の拡大を行う方を多方面から総合的に支援します。また産業の振興と雇用の増加による地域の活性化についてつなげます。</p> <p>また島内の産業に必要な人材確保に向けて人材育成を推進し、さらに有人国境離島法に基づく雇用機会拡充支援事業補助金も活用しながら雇用を伴う事業拡大や民間事業者による創業を支援します。</p>											
指標（数値目標）		<p>○ワンストップ相談窓口等での相談件数 : 100件</p> <p>○創業の目標件数 : 3件</p> <p>○雇用拡充（新規事業拡大件数） : 10件</p> <p>○被雇用者の雇用目標人数 : 30人</p>											
SDGs指標		 		達成時期			令和6年3月						
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ワンストップ相談窓口の相談受付		▶											
補助金説明、事業支援セミナーの開催				■						■			
雇用機会拡充支援事業審査会					■								■
創業支援事業審査会			■										

指標に対する実績	ワンストップ相談窓口等による相談件数は88件、創業件数は4件、雇用拡充支援事業等による新規事業拡大件数は9件、雇用拡充支援事業等による新規雇用者は、26名の雇用確保に止まりました。	
	評価記号	△
今後の展開	<p>創業、事業拡大ともに島内事業者の新たな事業展開は頭打ちの状況にあることから、移住相談会への積極的な参加や島外企業に対する事業説明会をはじめ、令和6年度から実施する企業向け配信サービス（PRTIMS）等による島外向けPRを強化することで新たな事業の掘り起こしに努めます。</p>	

令和 5 年度 しまづくり推進部 組織目標と成果

課名等	地域づくり課	全体	8
		個別	02-03

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能なライフラインを確保する											
項 目		地域公共交通計画の策定											
取組の内容		地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、地域公共交通計画を策定し、利便性の高い公共交通体系を構築するとともに国・県の補助を活用した事業を計画的に実施できる環境を整備します。											
指標（数値目標）		地域公共交通計画の策定 ①地域公共交通活性化協議会の開催（3回） ②地域公共交通活性化協議会作業部会（3回） ③計画策定（現状の調査・情報分析）											
SDGs指標					達成時期			令和6年3月					
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域公共交通活性化協議会の開催				■					■				■
作業部会の開催					■	■	■						
計画策定業者選定		→											
計画策定（現状の調査・情報分析）		→											

指標 に 対 す る 実 績	①地域公共交通活性化協議会 5回開催 ②地域公共交通活性化協議会作業部会 3回開催 ③地域公共交通計画策定する上で、現状の調査（市民、高校生、高齢者、公共交通へのアンケート及びヒアリング）・情報分析を行い、令和6年3月に策定を完了しました。	
	評	令和6年3月に地域公共交通計画を策定完了により、問題点、解決方法等が明確となりました。
価	評価記号	○
	今 後 の 展 開	引き続き、地域公共交通計画に基づく、利便増進実施計画を策定することで、効率的な市民の移動手段として路線バス・市営バス等の運行の維持確保を図ります。

令和 5 年度 しまづくり推進部 組織目標と成果

課名等	SDGs推進課	全体	9
		個別	02-04

総合計画 の区分	挑 戦	全項目											
	最優先課題	全項目											
項 目		SDGsの推進											
取組の内容		SDGsアクションプランと第2期SDGs未来都市計画に基づき、持続可能なしまづくりを実施します。 1. SDGs推進の基盤づくり：交流と対話の場及び人づくり 2. 「対馬モデル」によるSDGs全体への波及とサーキュラーエコノミーの活性化											
指標（数値目標）		1-1. 交流と対話の場づくり…「SDGsカフェ」毎月20名、「SDGsパートナーズ登録」新規50者、「SDGsプラットフォーム」運用100者 1-2. 人づくり…「対馬グローバル大学」ゼミコース40名受講、「対馬学フォーラム」250名参加、「SDGs教育支援」島内5校											
SDGs指標								達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1-1. 交流と対話の場づくり		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
1-2. 人づくり		→											
2. 「対馬モデル」研究とフィールド実証の検討		→											

指標 に対する 実績	1-1. ・SDGsカフェ…毎月平均21名参加 ・SDGsパートナーズ…新規28者登録 ・SDGsプラットフォーム…23者運用 1-2. ・対馬グローバル大学…5ゼミで合計29名受講 ・対馬学フォーラム…214名参加 ・SDGs教育支援…島内6校（中学校4、高校2）	
	評 価	6つの数値目標のうち達成できたのはSDGsカフェとSDGs教育支援のみでした。 目標達成できなかったのは、SDGs推進課の取組の周知、また、市民等に対して分かりやすく魅力的なコンテンツづくりが不十分であったことに起因します。
	評価記号	△
今後の展開	SDGsの達成には市民、企業・団体等の主体的な取組が必要不可欠です。そのため、交流・対話の場と人づくりによりSDGs推進基盤を整えていくことが当課の使命となります。目標達成できなかった要因を精査し、普及啓発や場づくり等に一層努力することで目標をクリアできるよう努めます。	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 5 年度 しまづくり推進部 組織目標と成果

課名等	デジタル推進課	全体	10
		個別	02-05

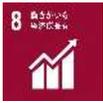
総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		デジタル活用支援の実施											
取組の内容		「誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化」に向け、身近に支援者がいない高齢者等がデジタル社会の利便性を実感できるようスマートフォン操作やアプリの活用等について1対1での支援を実施します。 市内の各庁舎に5月よりスマートフォン相談窓口を設置します。											
指標（数値目標）		①スマートフォン相談窓口の設置回数 12回/年 ※月1日×10か月（6月～1月）=8回/年 月2日×2か月（5月、2月）=4回/年 ②延べ相談件数 60件 ※5件/日×12回/年=60件											
SDGs指標								達成時期			令和6年2月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
支援委託先の決定及び打合せ		<input checked="" type="checkbox"/>											
スマートフォン相談窓口設置													

指標 に 対 す る 実 績	①スマートフォン相談窓口の設置回数 12回/年 ②延べ相談件数 87件	
	評 価	窓口の設置では、開催案内を広報及び屋外拡声放送に加え、対馬市老人クラブ連合会の協力を得て会員に案内を配布した結果、相談件数が目標を上回りました。
評 価	評価記号	◎
今 後 の 展 開	令和8年3月に3Gサービスがすべて終了することから、今後スマートフォンの需用は益々高まっていきます。継続してスマートフォン無料相談窓口を設置し、誰一人取り残さないデジタル社会の実現を目指します。	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、-（評価不能）

令和 5 年度 観光交流商工部 組織目標と成果

課名等	観光商工課	全体	11
		個別	03-01

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり											
	最優先課題	地域経済の循環の仕組みを確認する											
項 目		観光客受入体制の整備											
取組の内容		「団体旅行から個人旅行へ」又「量から質を求める旅」の変化に対応するため、対馬来訪者一人一人の観光の質を高め、観光消費額の増加、観光満足度の向上を目指した受入体制の整備を実施します。											
指標（数値目標）		○宿泊施設等の施設整備の実施 （施設整備件数：6件） ○観光満足度調査の実施 （対象事業者 100施設 回答数 500件）											
SDGs指標		 						達成時期		令和6月3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
宿泊施設等の施設整備		→											
観光満足度調査		→											

指標 に 対 す る 実 績	○宿泊施設等の施設整備の実施 （施設整備件数：7件） ○観光満足度調査の実施 （対象事業者 102施設 回答数 1,071件）	
	評 価	観光客のリクエスト（トイレ、カーナビ等）に対応した施設整備（宿泊施設3件、飲食店3件、レンタカー事業者1件）による受入体制の強化につながりました。 観光満足度調査結果のフィードバックによる事業者のおもてなしに対する意識が高まりました。
価	評価記号	○
今 後 の 展 開	金田城などの歴史や自然、食、トレッキングなど複数のコンテンツを組み合わせた「質の観光」、満足度の高い「持続可能な観光」に転換し、「観光消費額の増加」「観光満足度の向上」を目標とした、対馬来訪者1人1人の観光の質を高めていきます。	

令和 5 年度 観光交流商工部 組織目標と成果

課名等	文化交流課	全体	12
		個別	03-02

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり												
	最優先課題	多様な主体によるしまづくりを推進する												
項 目		国内外の交流の促進												
取組の内容		国際航路の休止中実施できなかった影島区との交流事業、朝鮮通信使に係る交流事業、国際交流協会に係る交流事業を実施します。												
指標（数値目標）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 姉妹都市である韓国釜山広域市影島区で行政交流セミナーの実施</li> <li>・ 釜山朝鮮通信使祭りへの参加</li> <li>・ 日本映像コンテンツ公募展への参加</li> </ul>												
SDGs指標		 						達成時期		令和6年3月				
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
行政交流セミナーの実施			→											
釜山朝鮮通信使祭りへの参加			■											
日本映像コンテンツ公募展への参加			→											

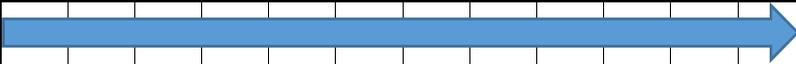
指標 に対する 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12月19日に影島区において行政交流セミナーを実施しました。（対馬市参加者：14名）</li> <li>・ 5月6日開催の釜山朝鮮通信使祭りへ参加しました。なお、行列再現については開始直前の降雨により急遽中止となりました。（参加者：20名）</li> <li>・ 在釜山日本国総領事館が主催する日本映像コンテンツ公募展に共催として参加し、12月22日総領事公邸で開催された授賞式において対馬招聘賞を授与しました。</li> </ul>	
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際航路再開後、休止以前に実施していた各種交流事業が実施でき、友好親善が図られました。</li> </ul>
評 価	評価記号	○
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き交流事業を実施し、日韓友好親善に寄与していきます。</li> </ul>	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）



令和 5 年度 観光交流商工部 組織目標と成果

課名等	福岡事務所	全体	14
		個別	03-04

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり											
	最優先課題	地域経済の循環の仕組みを確立する											
項 目		よりあい処つしまを核とした観光・物産情報の受発信											
取組の内容		福岡市に所在する対馬のアンテナショップ「よりあい処つしま」から対馬の観光・物産情報を発信するとともに、対馬の歴史をテーマにした福岡市内での対馬PRイベント開催や対馬ツアーを実施します。また、大型商業施設において物産イベントを開催します。											
指標（数値目標）		<ul style="list-style-type: none"> <li>対馬PRイベントの開催：1回</li> <li>対馬ツアーの実施：1回</li> <li>物産イベントの開催：6回</li> </ul>											
SDGs指標		 		達成時期			令和6年3月						
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「よりあい処つしま」からの情報発信													
対馬PRイベントの開催													
対馬ツアーの実施													
物産イベントの開催													

指標 に 対 す る 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>対馬PRイベントの開催 (対馬島”窓会開催 1回)</li> <li>対馬ツアーの実施 (交流と国防の最前線ツアー実施 1回)</li> <li>物産イベントの開催 (対馬うまいものマルシェ他 9回) (他市との共同出展 2回)</li> </ul>	
	評 価	<p>対馬PRイベントには85人、対馬ツアーには31人が参加しました。物産イベントでは、大相撲九州場所、木の葉モール橋本など11回出展し、対馬の観光・物産に関する情報を発信しました。</p>
価	評価記号	○
今 後 の 展 開	よりあい処つしまの運営サポート、関係機関や生産者・事業者との連携協力によるイベント開催・出展・販路開拓に取り組み、アンテナショップとしての機能を強化します。	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

課名等	市民課	全体	15
		個別	04-01

総合計画 の区分	挑 戦	対象外												
	最優先課題	対象外												
項 目		窓口サービスの質の向上												
取組の内容		来所者にわかりやすく、丁寧で正確な窓口を追求します。市役所の総合窓口として、住民異動届受付から福祉サービスまでスムーズな案内を実現するため、課内の連携強化と業務内容の情報共有を徹底し、サービスの向上につなげます。												
指標（数値目標）		①専門知識の向上のための定例ミーティングの実施 毎週1回 ②情報共有等のための随時ミーティングの実施 事案発生の都度												
SDGs指標												達成時期	令和6年3月	
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
定例ミーティング														
随時ミーティング														

指標 に対する 実績	①は数値目標を達成しました。 ②は目標どおり事案発生都度、「随時ミーティング」を実施しました。また事案発生を防ぐために、窓口で発生した問題について随時ミーティングを実施し、課題解決に努めました。	
	評 価	週1回の定例ミーティング、随時ミーティングを実施したことで情報の共有と問題の検証をして必要な改善を行い、市民の方へのサービスの向上につなげることができました。
	評価記号	○
今後の展開	令和6年3月1日より戸籍の広域交付が開始され、またマイナンバーカードを利用した電子申請も多様化している中、質の高いサービスの実現のために個々が自己研鑽を重ね、課内の情報共有と連携を強化します。	

令和 5 年度 市民生活部 組織目標と成果

課名等	税務課	全体	16
		個別	04-02

総合計画 の区分	挑 戦	対象外																																																												
	最優先課題	対象外																																																												
項 目		徴収率の向上																																																												
取組の内容		徴収率向上のため、滞納者に対する電話や文書による催告を徹底します。さらに、催告に応じない滞納者に対し、財産調査を実施し、差押による換価の実施及び滞納処分の停止による効果的な滞納整理を実施します。																																																												
指標（数値目標）		<ul style="list-style-type: none"> <li>目標徴収率</li> <li>市税 現年分 96.50% 前年度実績 96.38%</li> <li>          滞納分 10.00% 前年度実績 8.22%</li> <li>国保税 現年分 94.00% 前年度実績 93.60%</li> <li>          滞納分 11.00% 前年度実績 10.65%</li> </ul>																																																												
SDGs指標		 <span style="margin-left: 10px;">達成時期</span> 令和6年3月																																																												
取組とスケジュール		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th> </tr> <tr> <td colspan="12">電話、文書による催告及び相談案内</td> </tr> <tr> <td colspan="12">月例徴収会議</td> </tr> <tr> <td colspan="12">夜間窓口、日曜窓口</td> </tr> <tr> <td colspan="12">財産調査、差押</td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	電話、文書による催告及び相談案内												月例徴収会議												夜間窓口、日曜窓口												財産調査、差押											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																			
電話、文書による催告及び相談案内																																																														
月例徴収会議																																																														
夜間窓口、日曜窓口																																																														
財産調査、差押																																																														

指標 に 対 す る 実 績	令和6年3月末現在徴収率	
	市税	現年度分 95.75% (-0.75%) 過年度分 9.68% (-0.32%)
評 価	国保税	現年度分 92.92% (-1.08%) 過年度分 11.23% (+0.23%)
	夜間窓口を年12回、休日窓口は年11回、財産調査は年4回（過年度滞納者は随時）、給与等の差押44件を実施し、コンビニ等での納付も可能となり、7月から12月までは徴収強化月間として市内全域を対象に電話・臨戸等を実施しましたが、接触の機会を伸ばせず、国保税の滞納分以外は達成できませんでした。	
今後の展開	評価記号	△

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、-（評価不能）

令和 5 年度 市民生活部 組織目標と成果

課名等	環境政策課	全体	17
		個別	04-03

総合計画 の区分	挑 戦	ふるさとづくり											
	最優先課題	環境負荷の低い暮らしを営む											
項 目		「ごみゼロアイランド対馬」の実現											
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スチール缶、アルミ缶及びペットボトルの資源ごみ回収率を向上するための広報活動や仕組みを構築します。</li> </ul>											
指標（数値目標）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別についてCATV等で周知します。</li> <li>・缶及びペットボトルの資源化量の対前年比 5%増 (令和4年度 72.44t)</li> </ul>											
SDGs指標								達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
資源ごみ回収率向上のための広報活動													

指標 に対する 実績	<p>CATVにて資源ごみの分別・出し方を2回、あわせて、市民より資源ごみとして出したものがどのようにリサイクルされているかわからないというご意見をいただいていたので、対馬クリーンセンターでの資源ごみの処理状況を1回放送しました。</p> <p>また、缶及びペットボトルの資源化量を令和4年度実績より5%増加させる目標については、令和5年度実績は84.43トンと約16%増加しました。</p>	
	評 価	<p>数値目標の達成要因としてはCATVによる周知の効果が徐々にできてきているのではと思われます。しかしながら、回収された資源ごみ以外のごみの中にもリサイクルに回せるごみがまだまだあることが判明しました。</p>
	評価記号	○
今後の展開	<p>ごみの出し方・分別方法の広報活動は継続して実施していくとともに、あわせて今後は資源ごみを出しやすい環境を整えていくことを検討していきます。</p>	

令和 5 年度 市民生活部 組織目標と成果

課名等	環境政策課	全体	18
		個別	04-04

総合計画 の区分	挑 戦	ふるさとづくり											
	最優先課題	環境負荷の低い暮らしを営む											
項 目		対馬海ごみシンポジウムの開催											
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>海ごみに関する市民の関心と理解を深めるため、環境省及び協定締結各企業等と連携し「対馬海ごみシンポジウム」を開催します。</li> <li>シンポジウムに併せて、美しい対馬の海をテーマに写真コンクールを開催します。</li> </ul>											
指標（数値目標）		<ul style="list-style-type: none"> <li>開催予定日 令和5年7月15日（土）</li> <li>シンポジウム集客数 300名</li> <li>写真コンクール出展作品数 50点</li> </ul>											
SDGs指標								達成時期			令和5年7月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
イベント内容協議及び準備		→											
講演依頼及び出席者案内		→											
写真コンクール募集、受賞作品選定及び展示		→											
対馬海ごみシンポジウムの開催					■								

指標 に対する 実績	<p>対馬で初めての開催となる「対馬海ごみシンポジウム」を、令和5年7月15日に実施しました。当日は334人の参加があり、ネット配信視聴者は790人を超えております。</p> <p>また、同日「美しい対馬の海写真コンクール」の作品を展示しました。応募総数102点の作品の中から、最優秀1点、優秀3点、入選4点を選定し、「対馬海ごみシンポジウム」開会式において作品を発表いたしました。</p>	
	評価	<p>「対馬海ごみシンポジウム」では、環境省課長、大崎町課長、BOI代表理事、KSN社長、対馬市係長からの講演の後、環境省、BOI、IVUSA、九大教授、対馬市長の5者でパネルディスカッションを行いました。</p> <p>来場者及びネット配信視聴者に対し、対馬の海ごみに対する情報発信ができたものと思います。</p>
今後の展開	評価記号	◎

課名等	美津島行政サービスセンター	全体	19
		個別	04-05

総合計画 の区分	挑 戦	対象外												
	最優先課題	対象外												
項 目		来庁者の満足度向上と事務の確実な処理及び効率化												
取組の内容		担当者が不在でも来庁者の対応に支障が生じないよう、個々人の知識やスキルアップ、情報共有により窓口対応力を向上させます。 業務の遂行においては複数人での確認作業を行い、処理の誤り・漏れ・遅れ等が生じないようにします。 事務の効率化のため市税、水道料の口座振替件数増に取り組みます。												
指標（数値目標）		担当者間の連携強化、情報共有のため、戸籍・住基、福祉、税、水道、その他の各担当の代表者会議を月1回実施します。 例月出納検査での指摘事項の件数が前年度を下回るようにします。 市税、水道料の口座振替勧奨通知を年3回発送します。												
SDGs指標											達成時期	令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
センター内会議														
市税の口座振替勧奨通知				■			■			■				
水道料の口座振替勧奨通知					■		■			■				

指標 に 対 す る 実 績	・センター内での情報共有のため、各業務担当の代表者会議を毎月実施しました。 ・令和6年2月実施分までの例月出納検査における指摘件数10件と前年同期7件を比較し3件の増となりました。 ・市税・水道料の随時の口座勧奨のほかに口座勧奨通知を3回発送し税68件、水道148件が口座振替となりました。	
	評 価	情報共有のための代表者会議と市税・水道料の口座勧奨については目標どおりの実績となりましたが、例月出納検査での指摘事項件数が前年度を上回りました。
	評価記号	△
今 後 の 展 開	当センターの業務は多岐にわたり、窓口での市民対応が主なものであるため、迅速かつ正確な事務処理が求められます。そのための情報共有、効率性の向上、事務処理のチェック体制の強化に努めます。	

令和 5 年度 福祉部 組織目標と成果

課名等	福祉課	全体	20
		個別	05-01

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能な福祉と医療の体制を整える											
項 目		障がい者の生きがいの創出											
取組の内容		①避難行動要支援者（高齢者、障がい者等）避難支援体制を確立し、災害時の避難支援に活用します。 ②基幹相談支援事業の連携を強化します。 ③第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画を策定します。											
指標（数値目標）		①避難行動要支援者台帳を更新し、要支援者個別計画を作成します。 ②障がい者のニーズに対応する相談、一般総合相談、相談支援体制を強化します。相談対応窓口は社会福祉協議会への委託ですが、市との連携対応により年間相談対応数900件を達成します。 ③令和6～8年度における第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画を策定し、障害福祉推進の礎とします。											
SDGs指標		 						達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
避難行動要支援者台帳の更新		→											
避難行動要支援者個別計画の作成		→											
基幹相談事業の実施		→											
第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画書の作成		→											

指標に対する実績	①社会福祉協議会に委託し、民生委員の協力のもと避難行動要支援者台帳の更新作業を行いました。また、今年度、避難行動要支援者に対し、個別避難計画の作成案内を行い、同意があった者の個別避難計画を作成しました。 ②社会福祉協議会との連携により、相談対応数の年間目標を達成しました。 ・年間相談件数 1, 104件 ③令和6年3月に「第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画」の策定を完了しました。	
	評 価	①今年度、避難行動要支援対象となる1, 003人に登録の案内を送付し、同意があった311人の個別避難計画を作成しました。 ②地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センター事業（社会福祉協議会へ委託）の実施により、24時間の常時連携体制が確保されました。 ③自立支援協議会における進捗状況の確認やニーズを踏まえた障害福祉サービス等の提供基盤の検討などを踏まえ、障害福祉サービスの取組方針を明確にしました。
評価記号	○	
今後の展開	避難行動要支援者について、対象者の同意を取付け、引き続き個別避難計画書の作成を進めていきます。 また、第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画については、計画書に基づき、障害福祉サービスの更なる充実を目指します。	

令和 5 年度 福祉部 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ひとつづくり											
	最優先課題	次世代の担い手の郷土愛を育む											
項 目		子育て環境の充実											
取組の内容		心豊かにたくましく育つことができるよう、子育ての基盤として家庭づくりを進めるとともに、就学前の教育・保育の充実に取り組みます。 ①温かみのある「豊玉こども園」の建設 ②公立保育所における保育内容の充実 ③ファミリーサポートセンター事業の充実											
指標（数値目標）		①円滑な運営及び園舎整備に向けた調整事項について、先進的な取り組みを学ぶこと目的に、先進地視察を実施します。（施設2か所） ②幼稚園と保育所の相互交流及び保育士による幼稚園の教育参観を行い、指導の内容や方法について研修を行います。（年2回） ③依頼会員35人登録と利用件数200件を達成します。											
SDGs指標					達成時期			令和6年3月					
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①先進地視察				→									
②幼稚園との相互交流及び参観			→				→						
③ファミリーサポート事業		→											

課名等	こども未来課	全体	21
		個別	05-02

指標 に対する 実績	①業務担当及び保育士による先進地視察 ・大川中央保育園（福岡県大川市） ・高瀬こども園（大分県日田市） ②保育士の幼稚園訪問及び教育参観による実務研修 ・比田勝こども園（1/16～1/26のうち5日間） ・鶏鳴幼稚園（1/16～1/26のうち6日間） ③依頼会員43人登録、利用件数105件	
	評	先進地視察及び幼稚園への教育参観は、教育・保育学習及び組織運営について、保育士等が教諭や園児及び関係者を交え直接的に体験ができた事で、質の向上が図られ、豊玉こども園の開園及び今後の保育所運営に向けて重要なステップとなりました。 ファミリーサポートセンター事業については、研修会等の開催により依頼・援助会員共に登録人数は増加できましたが、利用件数においてはコロナ感染症の影響により指標の達成には至りませんでした。
価	評価記号	○
今後の展開	体験活動は、保育士において幅広い保育の取り組みの一助となりました。今後は更に保育の専門性を生かした子育て支援に取り組んでまいります。 また、ファミリーサポートセンター事業においても更に体制を強化し、細やかに包括的な子育て支援を実施します。	

令和 5 年度 福祉部 組織目標と成果

課名等	保護課	全体	22
		個別	05-03

総合計画 の区分	挑 戦	対象外												
	最優先課題	対象外												
項 目		生活困窮者の自立支援及び適正な保護決定・実施												
取組の内容		①生活困窮者の自立支援を行います。 ②適正な保護の決定実施に取り組みます。 ③保護費の適正な処理を行います。												
指標（数値目標）		①他課や関係機関と連携し、相談・訪問等を随時行います。 ②情報共有、意思統一を図るため月1回課内会議を行います。 ③課税調査は、6月から7月にかけて実施し、8月分までの保護費に反映させるよう処理を行います。また、調査の結果、生活保護法第78条（不正受給に係る返還金）の処理を行う場合は、年度内に完了します。												
SDGs指標								達成時期			令和6年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生活困窮者自立支援の相談・訪問		→												
情報共有・意思統一・課内会議		→												
課税調査				→										
課税調査の法第78条処理					→									

指標 に 対 す る 実 績	①生活困窮者への支援のため、随時訪問及び面談を実施しました。 ②月1回（25日定例）の課内会議実施し情報共有、意思統一を図ることができました。 ③6月から7月にかけて課税調査を実施し、4件の措置必要な事案に対処した結果、すべて年度内に処理を完了しました。	
	評 価	①就労支援21件、住宅確保給付金7件、家計改善支援10件など一定の成果上げることができました。 ②課内会議の毎月実施により、情報共有及び意思統一が機能し、適正な保護実施をすることができました。 ③適正な調査及び適切な措置により、予定どおり処理を完了することができました。
	評価記号	○
今 後 の 展 開	生活保護業務の適正な実施に取り組みます。また、重要業務である生活困窮者自立支援困窮事業に対し担当者を中心として業務に当たるとともに生活困窮者支援会議を定期的に開催して、業務の充実に取り組んでいきます。	

令和 5 年度 保 健 部 組織目標と成果

課名等	健康増進課	全体	23
		個別	06-01

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり												
	最優先課題	持続可能な福祉と医療の体制を整える												
項 目		特定健診の受診率向上												
取組の内容		広報及びCATV等による周知やキャンペーンの実施、健診推進員による受診勧奨等を徹底し、特定健診受診率の向上に取組み、健康寿命の延伸につなげます。												
指標（数値目標）		<p>活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『早期受診キャンペーン（5～9月）』と『みんなスマイル元気のわキャンペーン（5～2月）』の2種類を実施します。</li> </ul> <p>成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診の受診率45%を達成します。（令和6年3月暫定値）</li> </ul>												
SDGs指標			達成時期									令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
広報・CATV文字放送による受診勧奨		→												
健診推進員等による受診勧奨及びキャンペーンの実施		→												
集団型健診実施								■						
個別型健診・節目型健診実施		→												

指標に対する実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診受診率 40.4%（令和6年3月末時点 暫定値）</li> </ul>		
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率向上のための取組みについては、全て計画どおりに実施できましたが、健診受診率の目標達成には至りませんでした。しかし、『早期受診キャンペーン』の狙いどおり、健診期間前半の受診者数を増やすことができました。</li> </ul>		
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度の実績を基本とし、予約方法のデジタル化を導入するなど、若い世代の特定健診受診率向上に取組みます。</li> </ul>		
評価記号	△		

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 5 年度 保健部 組織目標と成果

課名等	医療対策課	全体	24
		個別	06-02

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能な福祉と医療の体制を整える											
項 目		オンライン資格確認システムの整備											
取組の内容		マイナンバーカードの保険証利用がスタートしたことから、市民の利便性向上と加速するデジタル化に対応するため、市内11か所の直営診療所にオンライン資格確認システム機器を整備します。											
指標（数値目標）		・オンライン資格確認システム設置 直営11診療所（100%）											
SDGs指標					達成時期			令和6年3月					
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・電源設備工事、ネット回線の敷設		→											
・契約					■								
・オンライン資格確認システム設置						→							

指標に対する実績	・オンライン資格確認システム機器を、直営診療所11か所(100%)に、計画どおりに設置することができました。	
評価	・マイナンバーカードが保険証として使用できるようになり、市民の利便性向上を図ることができました。	
価値	評価記号	○
今後の展開	・今後もオンライン資格システムを継続して利用できるよう運用・保守・周知を実施してまいります。	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 5 年度 保 健 部 組織目標と成果

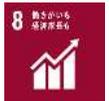
総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能な福祉と医療の体制を整える											
項 目		対馬市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定											
取組の内容		高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの更なる推進を目的とした計画を策定します。											
指標（数値目標）		対馬市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定 ・策定委員会の開催 3回 ・部署内協議 適時 ・パブリックコメント 1回（1～2月）											
SDGs指標		 						達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
策定委員会の開催				■				■		■			
部署内協議		→											
パブリックコメント実施												→	

課名等	長寿介護課	全体	25
		個別	06-03

指標 に 対 す る 実 績	<p>令和6年3月に対馬市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画を策定しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・策定委員会 4回開催</li> <li>・部署内協議 随時</li> <li>・パブリックコメント 1回実施（令和6年1月12日～2月13日）</li> </ul>	
	評価	<p>市内での高齢者福祉及び介護保険事業における課題について、協議を重ねることで、令和6～8年度の取組方針が明確化できました。</p>
評価記号	○	
今後の展開	<p>高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、計画に沿って地域包括ケアシステムを推進していきます。</p>	

令和 5 年度 農林水産部 組織目標と成果

課名等	農林しいたけ課	全体	26
		個別	07-01

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり											
	最優先課題	持続可能な農林水産業を展開する											
項 目		対馬しいたけ振興事業											
取組の内容		対馬しいたけの生産農家としては、少雨や寒波など気象による不作や生産者の高齢化、担い手不足が課題となっていることから、しいたけ種駒補助事業を継続しつつ、作業の効率化を目的とした研修会の開催や担い手不足解消のための新規参入者の確保に向けた取組を行います。											
指標（数値目標）		○しいたけ生産推進 種駒補助 700万個 ○研修会等 2回											
SDGs指標					達成時期			令和6年3月					
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
しいたけ種駒補助		→								→			
研修会等								■				■	

指標 に対する 実績	【種駒補助】 補助対象種駒数 217.9万個(達成率：31%) 対象経費 3,910,000円(予算執行率：43%)	
	【研修会】 令和5年9月15日 しいたけ生産部会 上対馬支部支部会 【PR・販促イベント】 令和5年11月21日～22日 「対馬原木しいたけフェア」開催（福岡市）	
評 価	・大規模生産者がしいたけ経営からの撤退や隔年での植菌等により、種駒購入数の減と併せて、原木本数も見込より減となった。 ・「対馬原木しいたけフェア」を開催することができ、目標額を上回る売上や来店された業者との商談も実施し、取引にも繋がった。	
	評価記号	△
今後の展開	価格の低迷など、しいたけ経営は厳しい状況が続いており、乾しいたけ品評会の開催も困難となりつつあることから、島内生産量の維持のため、種駒補助の条件緩和や、原木補助の導入により生産意欲の向上と生産量を維持し、併せて新規参入者、高齢生産者への支援を継続して行います。	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

課名等	農林しいたけ課	全体	27
		個別	07-02

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり												
	最優先課題	地域経済の循環の仕組みを確立する												
項 目		学校給食地産地消推進												
取組の内容		学校給食において、対馬の特産品である原木栽培しいたけや対馬あか牛をはじめ、農林水産物やジビエ、その加工品を購入するにあたっての補助金を交付します。												
指標（数値目標）		第3次対馬市食育・地産地消推進計画（R4～R8）において定めたとおり、学校給食における対馬産の農林水産物を使用する割合（金額ベース）を15.0%以上に維持します。												
SDGs指標		 						達成時期		令和9年3月				
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学校給食における地産地消推進														
意見交換会		■										■		

指標 に対する 実績	【使用割合】 実績：18.5% (令和5年度の対馬産食材購入費/食材購入費)	
	評	各給食調理場で対馬産食材が積極的に使用され、指標を上回ることができた。 【補助】島内6調理場：13,000千円（執行率：100%） 【取扱品目】 購入費に対し補助率3/4の食材 (対馬産あか牛,クロマグロ,アナゴ,ジビエ) 購入費に対し補助率1/2の食材 (しいたけ,アスパラ,米,その他対馬産農林水産物)
価	評価記号	○
今後の 展開	第3次対馬市食育・地産地消推進計画において定めた「学校給食において、対馬産の農林水産物を使用する割合(金額ベース)」を維持します。 ・令和7年3月：15.0% ・令和9年3月：15.0%	



令和 5 年度 農林水産部 組織目標と成果

課名等	水産課	全体	29
		個別	07-04

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり											
	最優先課題	持続可能な農林水産業を展開する											
項 目		水産業者や漁村への支援											
取組の内容		<p>漁業者の減少・高齢化、若年層の島外流出などにより、島の基幹産業である水産業は徐々に生産量が減少するとともに、後継者不足が深刻化しています。</p> <p>漁村の賑わいを取り戻すために、地域漁業者、行政、漁協等が一体となって新規漁業者の育成・確保に向けた支援を行います。</p>											
指標（数値目標）		<p>CATV（出演放送、文字放送）、広報、公式ホームページを活用した新規漁業研修生募集の周知広報を行い、併せて生活費を支給することで、新規就業者数を増やします。また、新規漁業研修制度を広く周知するため、年間を通して公式ホームページに掲載します。</p> <p>新規漁業研修生の確保：8名</p>											
SDGs指標					達成時期			令和6年3月					
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
漁業研修生の募集													
面接試験													
採用決定													
新規漁業研修生へ生活費を支給													
新規漁業研修制度を公式ホームページへ掲載													

指標 に対する 実績	令和5年4月～5月にかけて、CATV（出演放送、文字放送）、広報、公式ホームページを活用した周知広報を行い、新規就業者を11名（島外5名）確保しました。	
	評価記号	◎
評 価	目標値を達成し、島外から新規就業者が増加したことで漁業者若年層の増加にもつながり、管内漁協の活性化と既組会員にも刺激を与え、相乗効果をもたらしています。	
今後の展開	積極的に周知広報を実施し、多くの新規漁業研修生を確保します。	

課名等	水産課	全体	30
		個別	07-05

総合計画 の区分	挑 戦	ふるさとづくり											
	最優先課題	豊かな自然環境を取り戻す											
項 目		磯焼け対策の実施											
取組の内容		植食性動物による海藻類の食害が顕在化し、藻場が衰退しているため食害生物の駆除促進と有用資源としての活用を図ります。 ①漁業者や活動組織間の連携・情報共有による食害生物の駆除促進 ②島内定置網業者、漁協、対馬市水産加工連絡協議会等との連携による食害生物の利活用											
指標（数値目標）		①漁業者や活動組織間での意見交換会及び優良事例発表会の開催 ⇒年1回以上 ②定置網に入網した食害魚の島内水産加工業者への流通 ⇒30 t											
SDGs指標		 						達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
意見交換会・優良事例発表会									■				
漁業集落・活動組織による食害生物駆除、岩盤清掃、海藻種苗投入		→											
食害魚の定置網による漁獲				■									
冷凍保存された食害魚の加工・販売		→											

指標 に 対 す る 実 績	①漁業者や活動組織間での意見交換会及び優良事例発表会の開催 ⇒漁業者や活動組織との意見交換の場として、藻場再生作業部会を開催しました。（年1回）  ②定置網に入網した食害魚の島内水産加工業者への流通 ⇒28.2t	
	評 価	①藻場再生作業部会の開催のほか、磯焼け対策全国協議会への参加、他の市町との磯焼け対策に係る意見交換などで得られた有用な情報については、活動組織等へ共有し、食害生物の駆除促進につながりました。 ②目標はわずかに下回ったが食害魚を島内水産加工業者に流通させることができ、新商品・レシピの開発や販路開拓、学校給食への提供の拡大など食害生物の利活用につながりました。
価	評価記号	○
今 後 の 展 開	①引き続き、活動組織等による食害生物駆除などの活動を推進するとともに、多数の漁業者等が参加できる意見交換の場を設けることができるよう関係各所との調整を行います。 ②食害魚の島内流通の仕組みが自走できるように引き続き関係各所と連携し取り組みます。	

令和 5 年度 建設部 組織目標と成果

課名等	管理課	全体	31
		個別	08-01

総合計画 の区分	挑 戦	対象外												
	最優先課題	対象外												
項 目		市営住宅使用料未収金の縮小												
取組の内容		対馬市営住宅家賃滞納整理事務要綱に基づき未収額を縮小します。 ①滞納者には、書面や電話による督促、連帯保証人への連絡、来庁要請を実施します。 ②確約不履行等の悪質滞納者には、裁判所による明け渡し命令等の法的手続きを実施します。												
指標（数値目標）		市営住宅使用料徴収率（現年分＋滞納分） 90.00%（R4年度実績 85.72%）令和5年3月31日現在 （R3年度実績 86.02%） （R2年度実績 86.95%）												
SDGs指標											達成時期	令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
納付相談		→												
徴収率向上に向けた行動 （臨戸訪問）		→												
関係部署との協議		→												

指標 に 対 す る 実 績	・市営住宅使用料の徴収率（3月31日現在） 徴収率（現年分・滞納分）85.27% ・滞納者に対し納付指導等を行いました。指標の徴収率90.00%を達成できませんでした。	
	評 価	・滞納者へ書面や電話での督促及び連帯保証人への連絡を行っても効果が無く、収納率の向上ができませんでした。また、悪質滞納者への法的手続きについて、現在、検討中であるため今年度は対応できませんでした。
	評価記号	△
今 後 の 展 開	・引き続き滞納者には年間を通しての書面催促、電話、臨戸訪問による納付指導を行うとともに悪質滞納者には法的手段も考慮しながら指導を行ってまいります。併せて確約書提出者には、債務不履行が生じないように指導してまいります。	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 5 年度 建設部 組織目標と成果

課名等	建設課	全体	32
		個別	08-02

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり														
	最優先課題	持続可能なライフラインを確保する														
項 目		公共工事の早期発注と早期完成														
取組の内容		安心・安全なまちづくりを進めるため、公共工事を早期に発注し、早期完成のための施工管理を行います。														
指標（数値目標）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月末設計書作成件数及び予定額（測量・調査・設計） 11件 89百万円 《100%目標》</li> <li>・12月末設計書作成件数及び予定額（工事） 12件 2,898百万円 《100%目標》</li> </ul>														
SDGs指標								達成時期			令和5年12月					
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
工事・業務の設計書作成																
工事・業務の施工管理及び完成																

指標 に対する 実績	12月末設計書作成件数及び実施額	
	(測量・調査・設計)	11件 78百万円
評 価	(工事)	13件 2,715百万円
	地権者の同意が得られず発注出来なかった委託業務、許認可の関係で発注出来なかった工事がそれぞれ1件ありましたが、概ね12月末までに発注出来ており、当初の目標は達成しました。	
評価記号	○	
今後の展開	公共工事の早期着工は、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに早期完成によって、市民の生活基盤の底上げを図るものであることから、今後におきましても早期発注を行います。	

令和 5 年度 建設部 組織目標と成果

課名等	基盤整備課	全体	33
		個別	08-03

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり													
	最優先課題	持続可能な農林水産業を展開する													
項 目		基盤整備工事の早期発注と早期完成													
取組の内容		<p>農林道整備、漁港漁場整備等の公共工事は、第一次産業の基盤整備として、農林水産業従事者の所得向上を目的に事業実施するものです。</p> <p>その中で事業の早期着工・早期完成は市民の生活基盤の底上げにつながるものであり、本年度においても計画的な発注を行い年内に委託業務完了100%及び工事の執行100%を達成します。</p>													
指標（数値目標）		<p>建設工事発注 予定額1,234.5百万円 予定件数 委託8件、工事21件</p> <p>令和5年12月 委託業務完了予定額 100%目標（102.0百万円）</p> <p>令和5年12月 委託業務完了予定件数 委託 8件</p> <p>令和5年12月 工事執行予定額 100%目標（1,132.5百万円）</p> <p>令和5年12月 工事執行予定件数 工事21件</p>													
SDGs指標					達成時期			令和6年3月							
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
測量・調査・設計委託の設計書作成			→												
工事の設計書作成			→												
測量・調査・設計委託の管理及び完成				→											
工事の施工管理及び完成				→											

指標 に 対 す る 実 績	委託業務完了額	11.8百万円	(11.6%)
	委託業務完了件数	4件	(50.0%)
評 価	工事執行額	662.3百万円	(58.5%)
	工事執行件数	21件	(100.0%)
価	<p>委託業務については、測量調査及び設計等の委託業務の地元協議、また事業見直しによる業務中止により、大幅に遅延しました。</p> <p>また、工事執行については、主に漁港施設の災害復旧工事の件数増により、予定していた大規模工事の発注が遅れ、目標を達成できませんでした。</p>		
	評価記号	△	
今 後 の 展 開	<p>今後は、新規事業を計画的に処理し、既発注工事については早期完成に向け受注者に的確な指示を行い、未発注工事の早期発注に努めます。また、地元要望に迅速に対応するため、関係者との連携を取りながら適切かつ有効な事業計画の立案を行います。</p>		

令和 5 年度 建設部 組織目標と成果

課名等	北部建設事務所	全体	34
		個別	08-04

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能なライフラインを確保する											
項 目		公共工事の早期発注と早期完成											
取組の内容		地域経済の活性化と島内交通の利便性向上を実現するため、公共工事を12月末までに発注し、繰越件数の縮減に取り組みます。											
指標（数値目標）		令和5年度12月末発注件数 委託 6件 59百万円（100%目標） 工事 13件 409百万円（100%目標） 繰越件数 委託 0件（100%目標） 工事 2件（80%目標）											
SDGs指標		 						達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
測量・調査・設計委託の設計書作成		→											
本工事関係設計書作成		→											
測量・調査・設計委託の監理及び完成		→											
本工事関係の施工管理及び完成		→											

指標 に対する 実績	実績以下のとおりです。	
	当該年度予算分 委託 6件 75百万円（100%） 工事 13件 425百万円（100%） 繰越明許費分 工事 2件 80百万円（100%）	
評 価	組織目標に掲げた12月末までの発注件数は目標100%を達成出来ました。	
	評価記号	○
今後の展開	公共工事の早期発注については、目標を達成出来ました。繰越件数が多いことから、今後繰越件数を減らします。	

令和 5 年度 水道局（部） 組織目標と成果

課名等	水道課	全体	35
		個別	09-01

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能なライフラインを確保する											
項 目		水道料金の収納率の向上											
取組の内容		<p>安全な水道、強靱な水道、水道サービスの持続のためにも、水道経営の効率化と健全な事業運営を図る必要があります。</p> <p>水道事業の経営をしていく中で、水道料金の収納率向上は喫緊の課題であり、引き続き新規滞納者の発生予防、納付確約（分納）の取り組み強化、給水停止措置を実施し、収納率を向上させます。</p>											
指標（数値目標）		収納率（現年度分）97.75%を達成します。											
SDGs指標								達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
納付勧奨（督促・催告）		→											
給水停止措置		→											

指標 に 対 す る 実 績	目標	97.75%
	実績	97.41%
	対目標比	▲0.34%
評 価	水道料金滞納者に対し、定期的に督促及び催告を実施し、また、給水停止等の措置も講じましたが、目標を0.34%下回り達成することができませんでした。	
	評価記号	△
今 後 の 展 開	<p>今後は水道料金滞納者に対し、督促、催告等の納付指導を強化し、また、悪質な滞納者に対しては、これまで以上に給水停止等の措置を徹底し、納付意識を高揚させます。なお、水道局、各水道事務所においては、日常的に滞納状況を把握するよう周知し、早期の収納対策を講じます。</p>	

令和 5 年度 水道局（部） 組織目標と成果

課名等	水道課	全体	36
		個別	09-02

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり													
	最優先課題	持続可能なライフラインを確保する													
項 目		水道事業の有収率の向上													
取組の内容		<p>安全な水道、強靱な水道、そして水道サービスの持続を行うためには、有収率（浄水場で作られた水量と実際に家庭等の蛇口から出て使われた水量の割合）対策は、重要な課題となっております。</p> <p>有収率を向上をさせるためにも、計画的に施設の更新、改修を行うと同時に、配水管等の漏水対策（調査、修理）を随時行います。</p>													
指標（数値目標）		<p>有収率は、72.50%を達成します。 （水道事業経営戦略プラン目標値 令和8年度有収率：73.00%）</p>													
SDGs指標								達成時期			令和6年3月				
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
漏水調査及び修理		→													
老朽施設の更新					→										

指標 に 対 す る 実 績	有収率	
	目標	72.50%
	実績	70.74%
	対目標比	▲1.76%
評 価	評 価	<p>配水管等の漏水調査の実施及び漏水箇所の早期修繕対応などを行いました。目標を1.76%下回り達成することができませんでした。</p>
	評価記号	△
今 後 の 展 開	今 後 の 展 開	<p>有収率の低い地区を重点的に漏水調査業務を委託し、また、配水量が多くなった際は、水道職員による漏水調査を実施し、早急な漏水修理をいたします。併せて、老朽化した水道施設の更新等の対策を行い、有収率を向上させます。</p>

令和 5 年度 中対馬振興部 組織目標と成果

課名等	地域振興課	全体	37
		個別	10-01

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり													
	最優先課題	地域経済の循環の仕組みを確立する													
項 目		中対馬未来づくりアクションプランの推進													
取組の内容		地域資源や観光・産業の課題を踏まえたうえで、新たな価値創造のためリトリート（癒やし）とアクティビティ（体験）の創出による観光客をきっかけとした活性化・地域振興に向け、新たな観光PR事業として「光を活用したキャンプ客誘致事業」に取り組みます。													
指標（数値目標）		神話の里自然公園内で自然素材を活かしたライトアップを実施し期間中にキャンプイベントとして、海鮮バーベキューやシーカヤック、SUP体験をおこない、参加者にキャンプの様子や食のPRをSNS等で発信していただくよう誘導します。 (キャンプイベント参加者9組20人以上・SNS投稿数400件)													
SDGs指標					達成時期			令和6年3月							
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
光を活用したキャンプ客誘致事業															

指標 に対する 実績	公園において、SDGsを意識した海岸漂着物や竹あかりなどの自然素材を活用したライトアップを実施し、期間中のキャンプイベント（2泊3日参加者3組11名）でも、予定どおり海鮮バーベキューや燻製づくり、SUP、シーカヤックのマリンスポーツ体験を実施できました。また、イベント参加者自身のSNSでの情報発信（画像投稿数322件）も行われ、加えてイベント開催前にキャンプ系ユーチューバーの動画配信によりイベントの告知とキャンプ場のPRを行いました。	
	評 価	キャンプイベントの参加人数は目標に達しなかったものの、イベント内容は高評価を得ており、参加者からは是非来年も参加したいとお声をいただきました。またSNSの発信で、さらに中対馬の魅力発信につながったと評価しています。
	評価記号	○
今後の展開	引き続き、観光誘客による地域活性化のために中対馬未来づくりアクションプランを推進し、その中で、キャンプイベントやマリンアクティビティ体験による魅力発信、青海の花畑スポット整備についても地元との調整を進め、中対馬の更なる魅力アップに努めます。	

令和 5 年度 中対馬振興部 組織目標と成果

課名等	住民生活課	全体	38
		個別	10-02

総合計画 の区分	挑 戦	対象外												
	最優先課題	対象外												
項 目		受付業務の向上と徴収率の向上及び環境美化推進												
取組の内容		①迅速・丁寧な受付業務を行い、正確な事務処理を実施します。 ②税の徴収率・水道料金の徴収率向上のため夜間納税相談及び電話催告を行います。 ③環境政策課と連携し、ごみ分別の徹底及び不法投棄防止の啓発に取り組み、巡回パトロールを実施します。												
指標（数値目標）		①職員相互の業務を把握し、処理誤り「0」を達成します。 ②税の現年徴収率を95%以上、水道の徴収率を98%以上を令和6年3月末までに達成します。 ③看板設置等により啓発に取り組み、現状把握のための巡回パトロールを年3回実施します。												
SDGs指標		  			達成時期			令和6年3月						
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
迅速・丁寧で正確な対応及び課内相互確認の継続		→												
納税相談		→												
誓約の履行監視		→												
臨戸徴収		→												
看板設置及び巡回パトロール				→										

指標に対する実績	①住民異動における窓口受付の処理誤りは、0件でした。 ②税の現年徴収率は95.95%（前年比+1.12）であったものの、水道現年度徴収率96.6%（前年比-0.72）でした。 ③年1回の振興局合同パトロールと併せ、通報によるパトロール及び啓発を4回実施しました。	
	評価記号	△
今後の展開	受付業務については職員間での相互確認を行ったことにより適切に処理できました。 税の現年徴収率は臨戸徴収を行ったことにより目標を上回ったものの、水道現年徴収率は、漏水対応等の施設管理に手を取られ、未納者対応業務が停滞し、目標を達成できませんでした。 また、環境美化推進については、通報対応も含め5回実施しており目標を上回る実績を残しました。	
今後の展開	水道料金及び税の催告を積極的に行い、給水停止及び執行停止を行うとともに、引き続き環境美化推進パトロール及び啓発に取り組みます。 また、受付業務については課全体で業務内容を把握し、処理誤りなしを継続します。	



令和 5 年度 上対馬振興部 組織目標と成果

課名等	地域振興課	全体	40
		個別	11-01

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり												
	最優先課題	地域経済の循環の仕組みを確立する												
項 目		対馬の自然を生かした観光地の整備												
取組の内容		○三宇田浜園地リニューアル整備事業（三宇田キャンプ場改修） 日本の渚百選である三宇田浜のロケーションを活かし、施設利用者のニーズに対応したキャンプ施設に改修します。												
指標（数値目標）		○全体計画：平成30年度～令和5年度 ○今年度事業内容 ・炊事棟改修、カマド耐火レンガ等改修												
SDGs指標								達成時期			令和5年12月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
法律上の各種許可・申請～承認		→						→						
炊事棟改修工事						→								

指標 に対する 実績	<p>一部計画の見直しによる増工のほか天候の影響等で不測の日数を要し工期延長となりましたが、工事は令和6年2月26日完成しました。それに伴い、長崎県補助事業における実績報告の完了、3月定例議会での条例改正など所定の手続きを行いました。</p> <p>（主な追加工事）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・犬走りコンクリートの追加</li> <li>・既存のコンクリート床面補修の追加</li> </ul>	
	評価	<p>施工業者をはじめ各関係者の努力により次年度へ事業を繰り越すことなく年度内に完成することができました。</p> <p>これによりリニューアル整備計画どおり安全で快適なキャンプ施設の提供や、利用客の多様なニーズに対応可能な施設となりました。</p>
今後の展開	評価記号	○
	<p>キャンプ場利用客の多様なニーズに対応し、安全で快適なキャンプ施設を提供していきます。</p>	

令和 5 年度 上対馬振興部 組織目標と成果

課名等	地域振興課	全体	41
		個別	11-02

総合計画 の区分	挑 戦	なりわいづくり													
	最優先課題	地域経済の循環の仕組みを確立する													
項 目		対馬の自然を生かした観光地の整備													
取組の内容		<p>○鰐浦園地リニューアル整備事業</p> <p>北部対馬の主要な観光地である鰐浦園地について、施設の老朽化が著しいことから展望所のリニューアル整備を行います。</p>													
指標（数値目標）		<p>○全体計画：令和2年度～令和5年度</p> <p>○今年度事業内容（令和4年度繰越事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国展望所外装改修、スロープ設置、ピロティ改修、外構（歩道及び側溝）工事</li> </ul>													
SDGs指標								達成時期			令和6年3月				
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
法律上の各種許可・申請～承認								→							
韓国展望所改修工事、監理業務（繰越事業）		→													

指標 に対する 実績	<p>工法の見直し等で不測の日数を要し予定の工期を延長しましたが、工事は令和6年2月29日完成しました。それに伴い、長崎県補助事業における実績報告についても完了しました。</p> <p>（主な変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピロティ等への手摺り追加</li> <li>・雲飾り、腰壁飾りのデザイン等変更</li> <li>・展示室ベンチの見直し</li> </ul>	
	評価	<p>令和4年度からの繰越事業は年度内に完成することができました。</p> <p>これにより北部対馬の観光拠点としてリニューアル整備計画どおり安全性の確保と展示内容の更新により最新情報を発信できる施設となりました。</p>
価値	評価記号	○
今後の展開	北部対馬の観光拠点として利活用していきます。	

令和 5 年度 上対馬振興部 組織目標と成果

課名等	地域振興課	全体	42
		個別	11-03

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	多様な主体によるしまづくりの推進											
項 目		国内外の交流の推進											
取組の内容		○交流イベントの実施 北部対馬における地域イベントへ積極的に参加します。 特に、実行委員会として参画するひとつばたご祭り及び国境マラソン I N 対馬については、昨年度以上の観光客等の満足度向上と交流人口の拡大を図るため、アンケート等を活用し事業検証を行います。											
指標（数値目標）		○今年度事業 ひとつばたご祭り（4月29日） 国境マラソン I N 対馬（6月25日） おっどん祭り（8月頃）											
SDGs指標								達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひとつばたご祭り													
国境マラソン I N 対馬													
おっどん祭り													

指標 に対する 実績	○ひとつばたごイベント→悪天候のため中止。 ○国境マラソン I N 対馬→6月25日開催 ・国内外参加ランナー 952名 ・ボランティアスタッフ 約350名 ○おっどん祭り→8月19日開催 ・来場者 約2,000名 ・スタッフ（市職員） 26名	
	評 価	国境マラソン I N 対馬はアンケート調査結果を参考に事業検証し、実行委員会でコース変更など重要事項についての協議を行いました。 おっどん祭りは主催者である商工会に対し必要な助言を行うほか、動員要請への対応など積極的に協力しました。
今 後 の 展 開	評価記号	○
	今後も北部対馬で開催される地域交流イベントへ積極的に参加します。	

令和 5 年度 上対馬振興部 組織目標と成果

課名等	住民生活課	全体	43
		個別	11-04

総合計画 の区分	挑 戦	対象外												
	最優先課題	対象外												
項 目		窓口サービスの適正化・迅速化と電話対応の向上												
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員相互間の情報の共有化を図り、市民ニーズに対し窓口のワンストップ体制を構築し、主担当が不在の場合でも市民ニーズに応えられる体制づくりと、窓口・電話対応では、親切丁寧な窓口サービスをします。</li> </ul>												
指標（数値目標）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に各種研修を受講し、職員としてのスキルアップを図り、窓口対応においては、市民にわかりやすい丁寧な言葉遣いで、苦情の少ない窓口サービスを達成します。</li> </ul>												
SDGs指標												達成時期	令和6年3月	
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
毎週課内ミーティングを行い職員相互間の情報の共有化		→												
親切丁寧な窓口受付・電話対応		→												
税務研修・戸籍研修その他研修会への参加				■	■		■		■					

指標に対する実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口、電話対応においては、優しい言葉遣いや親切丁寧な接客に取り組みました。</li> <li>・各種研修会に積極的に参加し、職員としての知識の習得やスキルアップを図り、他業務の仕事内容の把握に取り組みました。</li> <li>・毎週課内ミーティングを実施し、職員間の情報の共有を行いました。</li> </ul>	
	評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間の情報の共有化や他職員の仕事内容を把握し、主担当が不在でも市民のニーズに対応できる体制を構築し、市民が満足できる行政サービスを提供することができました。</li> </ul>
評価記号	○	
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、窓口・電話対応の適正化・スピード化を実現し、市民ニーズに応えられる体制づくりに取り組みます。</li> </ul>	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 5 年度 上対馬振興部 組織目標と成果

課名等	上県行政サービスセンター	全体 個別	44 11-05
-----	--------------	----------	-------------

総合計画 の区分	挑 戦	ふるさとづくり											
	最優先課題	貴重な資産・資源を継承・活用する											
項 目		固有の遺跡や文化財の保存と活用											
取組の内容		対州馬の繁殖とあそびパークにおける対州馬活用推進計画及び年度毎の推進工程に基づき、「対州馬の繁殖」、「対州馬を活用するための人材確保及び人材育成」、「対州馬の魅力の共有及び発信」並びに「計画推進のために必要な施設等の整備」を進めていきます。											
指標（数値目標）		①対州馬の頭数を46頭にします。 ②対州馬を題材としたシンポジウム及び対馬博物館での企画展を開催します。 ③対州馬をとおした地域間交流を3回開催し、対州馬の飼育及び騎乗技能等を修得する対州馬少年クラブを10回開催します。											
SDGs指標								達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
対州馬の増頭		→											
対州馬を題材としたシンポジウム及び企画展の開催						→							
島外との対州馬をとおした地域間交流				■		■			■				
対州馬少年クラブの開催		→											

指標 に 対 す る 実 績	①予定どおりに1頭の出生があったものの、高齢馬が2頭死亡したため、合計は44頭となりました。 ②対馬市交流センターにおいて8月26日、「対州馬シンポジウム」を開催しました。また、対馬博物館において8月10日から9月18日までの期間、「対州馬展」を開催いたしました。 ③宮城県仙台市の乗馬クラブの子供たちと対州馬少年クラブを中心とした地域間交流をオンラインにて3回、現地での実地交流を7月28日から7月31日の日程で実施しました。対州馬少年クラブ（乗馬会）は年間で15回の実施となりました。	
	評 価	対州馬の年度末頭数を除き、他は十分達成できています。予定どおり対州馬の1頭増頭は達成しましたが、想定外に高齢馬の死亡があり、結果、指標達成に至りませんでした。今後は、一定数の死亡も考慮して全体計画を見直す必要があります。
価	評価記号	△
今後の展開	令和6年4月1日より、株式会社東横インの所有する厩舎の無償借上げを行っています。そのため厩舎不足はある程度解消されますが、策定以来変更されていない「対州馬保存計画」を現状に合わせて見直し着手します。今までの取組を維持しつつ、新しい「保存計画」に基づき、今後の「対州馬の繁殖」等を進めていきます。	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）



課名等	総務課	全体	46
		個別	13-01

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能なライフラインを確保する											
項 目		地区消防団員の増員及び認定事業所の増加											
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各地区基本消防団員の増員 入団促進のDVDを活用した広報活動等を実施します。</li> <li>○ 認定事業所の増加 未認定事業所の洗い出し、認定取消となった事業所に対して再加入の促進・説明等を実施します。</li> </ul>											
指標（数値目標）		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 消防団員の増員・・・1, 350人（R5.4.1現在1, 318人）</li> <li>○ 認定事業所の増加・・・35施設（R5.4.1現在31施設）</li> </ul>											
SDGs指標								達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消防団組織等改革推進委員会													
消防団員増強に向けた活動													
認定事業所数の増加に向けた活動													

指標 に 対 す る 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消防団員の増員・・・R6.4.1現在1,284人（R5.4.1現在より34人減）</li> <li>○認定事業所の増加・・・R6.4.1現在31施設（R5.4.1現在と増減なし）</li> </ul>	
	評 価	<p>本市団員が出演した県の消防団勧誘対策強化PR動画の案内リーフレットを市内事業所へ配布した以外の特筆すべき広報活動の取組はできておりません。</p> <p>現状として、団員減少は団員の高齢化等による退団者数の増加が大きな要因です。それに伴い認定事業所要件（従業員等が団員として3名以上入団している等）を満たせないケースが出現しています。</p>
	評価記号	×
今 後 の 展 開	<p>今後、団幹部と密に連携をとり、入団促進のDVDを活用した広報活動等の実施及び未認定事業所の洗い出しに加えて認定取消となった事業所に対して再加入の促進・説明等を実施します。</p>	

課名等	警防課	全体	47
		個別	13-02

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能な福祉と医療体制を整える											
項 目		消防、救命に関わる隊員のスキルアップ研修会の実施											
取組の内容		令和4年中当本部の救急件数は2095件で過去最多の出場件数となっており、全国的に見ても出場件数が増加しております。近年、災害事故も複雑多様化し、このような災害に対応できる隊員のスキルアップのため指導救命士による研修会を実施します。											
指標（数値目標）		救急隊員の知識、技術の向上を目指し指導救命士による特異な救急症例等（現実に救急救命士等の隊員が活動した救急事故事案）のフィードバック、各種救急事故等に対応したシミュレーションを行い救急隊員のスキルアップのため、救急救命士22名、救急隊員56名、計78名の隊員に対し年5回の研修会を実施します。											
SDGs指標								達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
指導救命士による救急症例検証会 実施年2回					■				■				
救急隊員技能評価研修会の実施 年3回				■				■				■	

指標 に 対 す る 実 績	救急救命士22名、救急隊員56名、計78名に対し、特異な救急症例等のフィードバックを2回（2日間）、各種事故等に対応したシミュレーションを6月（5日間）、10月（6日間）、2月（5日間）計3回開催しました。	
	評 価	指導救命士による研修会は7月、11月の予定でしたが11月、3月に行い救急救命士22名、救急隊員56名、計78名に実施いたしました。また、救急隊員技能評価研修会も6月、10月、2月の予定でしたが5月、2月、3月に救急隊員78名に実施いたしました。
価	評価記号	○
今 後 の 展 開	近年全国的に救急件数が増加しており、当本部においても昨年過去最高の2189件で、前年と比較すると約100件の増加となっています。救急事故も複雑多様化し技術的に高度な活動が求められます。このような救急事故等にも対応した活動ができるよう指導救命士による研修会、技能評価を実施し更なる救急隊員の知識、技術等のスキルアップを行っていきます。	

令和 5 年度

消防本部

組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能なライフラインを確保する											
項 目		防火対象物及び危険物施設に関する違反是正											
取組の内容		防火対象物並びに危険物施設の違反を是正し、早期改修が可能なソフト面から、費用が発生するため関係者への負担が大きいハード面の違反に至るまで、関係者へ施設利用者の安全第一が最優先事項である旨の理解を求めて、違反件数半減まで達成します。											
指標（数値目標）		防火対象物、危険物施設の違反件数半減まで達成します。 （半減数値 防火対象物違反128件 危険物施設違反62件） 防火対象物違反件数 255件 危険物施設違反件数 124件 ※令和4年度末までに実施した立入検査で把握したものです。											
SDGs指標								達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
防火対象物査察（火災予防運動・歳末火災特別警戒・文化財防火デー）											→		■
危険物施設査察（危険物安全週間）				■									
各施設違反指摘事項の改修確認・継続指導		→											

課名等	予防課	全体	48
		個別	13-03

指標に対する実績	令和5年度の防火対象物における立入検査実施総数427件のうち違反件数は314件。その違反件数の中で改修件数が82件、未改修件数は232件（目標数値は157件未満）であった。また、危険物施設における立入検査実施総数287件のうち違反件数148件。その違反件数の中で改修件数が41件、未改修件数は107件（目標数値は74件未満）であった。結果としては、目標達成には遠く及ばなかった。	
	評価	消防法令に規定される各種届出の未報告、及び各種点検報告の未実施、それに伴う消防用設備等の機能維持不適等の違反が、昨年同様に多く見られた。また、危険物施設においては、施設の老朽化に伴い構造、設備等の維持不適違反が多く散見され、ハード面への指導を根気強く行う必要性を感じた。
評価記号	×	
今後の展開	昨年に引き続き、立入検査時における関係者への丁寧な説明、接遇を心掛け、消防法令遵守の重要性についても理解を求め、指導する必要がある。また、立入検査以外においても、関係者へ電話連絡等の手段を用いて確認指導の継続を定期的実施し、改修率の向上を図る。	

令和 5 年度 教育委員会事務局 組織目標と成果

課名等	教育総務課	全体	49
		個別	14-01

総合計画 の区分	挑 戦	ひとつづくり											
	最優先課題	次世代の担い手の郷土愛を育む											
項 目		島っこ留学制度による留学生の招致推進											
取組の内容		「島っこ留学制度」は、豊かな学びや地域における体験活動等を願う島外の方を対象に、市内の小・中学校への入学または転学を希望する児童・生徒を受け入れ、対馬市の学校や地域の活性化及び教育の振興と充実を図ることを目的として、平成27年11月からスタートした制度で、複式学級の解消等も考慮し取り組みます。											
指標（数値目標）		<b>【最終目標】</b> 令和7年度末までの留学生累計30名 <b>【活動指標】</b> SNS等による情報発信 20回以上 里親の新規開拓 2件 島っこ留学推進協議会の開催 3回 <b>【成果指標】</b> 新規留学生受入れ3名以上（小学生若しくは中学生）											
SDGs指標								達成時期			令和8年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
島っこ留学推進協議会				■			■				■		
広報・募集活動		→											
里親説明会			→										
事前視察					→								
留学生確定											■		

指標 に 対 す る 実 績	【活動】	SNS等による情報発信 20回以上 →11回	
		里親の新規開拓 2件 →1件	
		島っこ留学推進協議会の開催 3回 →4回	
	【成果】	新規留学生受入れ3名以上（小学生若しくは中学生） →1名（佐須奈小中学校区）	
評 価 値	・平成27年度にスタートし、令和5年度までに26名の留学生を受け入れ、18名の卒業生（終業生）を送り出してきましたが、今年度、ケーブルテレビ等による里親募集の結果、次年度の里親確保ができず、受入体制が整わなかったため、SNSによる島外に向けた情報発信を行うことができませんでした。		
	評価記号	△	
今 後 の 展 開	令和6年度から島っこ留学コーディネーターを採用し、新規里親の開拓と里親継続のための各種サポートを充実させ、里親の確保及び留学生の受入体制を整えます。また、対馬でしか体験できない留学プログラムを開発するなどし、事業の魅力を高め留学生の確保に努めます。		

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 5 年度 教育委員会事務局 組織目標と成果

課名等	学校教育課	全体	50
		個別	14-02

総合計画 の区分	挑 戦	ひとつづくり											
	最優先課題	子どもを大切に育てる											
項 目		ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成											
取組の内容		地域住民や保護者ととともに、地域を支えていくことができる人材を育成することが喫緊の課題と捉え、校種間や地域との連携を促し、対馬の歴史や自然、文化、環境問題等を題材にした学習を通して、将来を生きていく軸を育てるとともに、ふるさとによりよい未来を創造することができる資質や能力を持った児童生徒の育成に取り組みます。											
指標（数値目標）		1 学校訪問時及び各種研修会における指導助言を年間15回以上実施。 2 ICTを活用した授業支援と研修会を年間6回以上実施。 3 学力調査の実施と結果分析に基づく学力向上プランの作成及び実践。 4 ふるさと学習及び総合的な学習の時間の全体計画作成と改善。 5 令和6年3月迄に小中各2校で2つの学校運営協議会設置準備完了。											
SDGs指標								達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校訪問時及び各種研修会における指導助言		[Progress bar from April to February]											
ICTを活用した授業支援と研修会		[Progress bar from April to February]											
学力調査の実施と結果分析に基づく学力向上プラン作成及び実践		[Progress bar from June to February]											
ふるさと学習及び総合的な学習の時間の全体計画作成と改善		[Progress bar from April to February]											
学校運営協議会の設置		[Progress bar from May to February]											

指標 に 対 す る 実 績	1 学校訪問や研修会等において年間50回以上の講義や指導助言を実施しました。 2 ICTを活用した授業支援と研修会を合わせて11回実施しました。（研修会6回、学校を訪問しての授業支援5回） 3 学力向上プランを全小中学校で作成し、授業改善につなげました。 4 提出された全体計画を確認するとともに、必要に応じて改善事項について指導しました。 5 小中各2校で2つの学校運営協議会の設置準備が完了しました。	
	評	学校を訪問しての授業支援に加え、研修会における講義や技能習得により授業改善が図られるとともに、ICTの活用も促進され、最新の教育情報の周知や指導方法の改善を図ることができました。 学力向上プランの作成に加え、市独自の学力調査を実施することで切れ目のない指導を行う体制が整いました。また、2つの学校運営協議会設置の実績を踏まえ、次年度以降も計画的に設置に向けた取組を行います。
価	評価記号	◎
今後の展開	PC端末を最大限に活用した個別最適な学びへの転換については、学校間、教師間で格差があるため、研修会を充実させ、指導力を向上させます。 本年度、市独自に学力調査を実施しました。その結果を分析し、個別最適な学びに結びつけ、児童生徒の学力向上を目指します。	

令和 5 年度 教育委員会事務局 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ひとつづくり											
	最優先課題	次世代の担い手の郷土愛を育む 大人たちが対馬の魅力を知り誇りを持つ											
項 目		生涯・競技スポーツの普及振興											
取組の内容		人口減少・少子高齢化などの影響により「市内スポーツ活動の衰退」 「専門的な指導者の不足」「スポーツの多様化への対応」が課題となっ ています。そこで、プロスポーツクラブ等連携事業において、一流スポーツ 選手によるスポーツ教室等のスポーツイベントを開催することで、生涯・ 競技スポーツの普及振興に取り組みます。											
指標（数値目標）		○プロスポーツクラブ等が参画する新組織を設立し、運営会議を開催 設立時期：8月、運営会議の回数：3回 会議内容：組織の運営、イベントの企画等 ○新組織によるスポーツイベントを開催 計9回（3回×3種目（サッカー、バスケット、その他））											
SDGs指標		 				達成時期		令和6年3月					
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新組織の設立準備		→											
設立会議及び運営会議の開催						■				■			■
スポーツイベントの開催								■			■		■

課名等	生涯学習課	全体	51
		個別	14-03

指標 に 対 す る 実 績	○プロスポーツクラブ等が参画する新組織を8月に設立 しました。 組織名称：しまのスポーツ活性化実行委員会 連携団体：V・ファーレン長崎、長崎ヴェルカほか ○運営会議の開催回数 総会：2回、イベント企画会議：4回 ○新組織によるスポーツイベントの開催 計5回（サッカー1回、バスケット1回、陸上競技 1回、野球1回、その他1回）	
評 価	市内でのスポーツイベント等を企画運営する新組織を 設立したことで、プロスポーツクラブ等との連携体制を 構築することができました。また、これまでになかった 専門的な知識のある指導者等からスポーツ指導を受ける 機会を創出することができました。	
	評価記号	△
今 後 の 展 開	今後は、新たな団体等との連携の可能性を模索し、 様々な競技やニーズに対応したスポーツイベントを企画 できる連携体制を整備します。それによって市内のス ポーツ活動の更なる活性化に取り組みます。	

令和 5 年度 教育委員会事務局 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ふるさとづくり												
	最優先課題	歴史・文化を未来に残す												
項 目		対馬固有の遺跡や文化財の保存と活用												
取組の内容		<p>対馬を代表する歴史文化遺産を保存し、その価値を後世へ伝えていくために、積極的に市民へ情報発信を行っていきます。</p> <p>また、国指定を目指す文化財の調査報告書を作成し、今後の保存活用に資するとともに対馬の文化財の価値について周知していきます。</p>												
指標（数値目標）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 越高遺跡調査検討委員の皆様とWeb等で協議を進めながら、越高遺跡の総括報告書を作成します。</li> <li>・ 対馬藩お船江跡総合保全検討委員会を1回以上開催し、総合調査報告書を作成します。</li> <li>・ 金石城跡周辺の案内板等を整備し、現地見学会を開催します。</li> </ul>												
SDGs指標					達成時期			令和6年2月						
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
越高遺跡の調査報告書作成				→										
対馬藩お船江跡総合調査報告書作成				→										
金石城跡周辺整備・活用						→								

課名等	文化財課	全体	52
		個別	14-04

指標 に対する 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 越高遺跡総括報告書については、検討委員会、作業部会での協議を経て、刊行することができました。</li> <li>・ 対馬藩お船江跡については、豪雨災害によりき損した築堤の状況確認、補強工事の指導及び今後の事業計画等の協議のため、7月中旬に、対馬藩お船江跡委員会委員長ほか有識者1名を招聘し、現地視察等を実施することとなり、そのような経緯から報告書作成業務を中断し、委員会の開催を見送りました。</li> <li>・ 金石城跡の案内板等の整備と現地見学会は、予定どおり実施できました。</li> </ul>	
評価 価値	<p>越高遺跡総括報告書の刊行、金石城跡案内板整備と現地見学会を開催し、当初の目的を達成することができました。また、対馬藩お船江跡の調査報告書作成は、年間スケジュールにより計画的に進めていく予定でしたが、想定外の災害が発生したため、復旧作業・工事を優先した結果、報告書作成の作業が停滞しました。</p>	
	評価記号	△
今後の 展開	<p>対馬藩お船江跡の調査報告書については、文献調査の作成は進捗しましたので、他の調査成果をまとめ、完成に向け作業を進めます。</p>	

課名等	議会事務局	全体	53
		個別	15-01

総合計画 の区分	挑 戦	対象外												
	最優先課題	対象外												
項 目		議会運営の充実と市民に開かれた議会												
取組の内容		正確、円滑な議会運営・議会活動の支援を行うとともに、議会に対する市民の理解・関心度を高めるため、議会情報の積極的な発信等を図り、市民に対して開かれた議会づくりへの支援を積極的に行います。												
指標（数値目標）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修会への積極的な参加、議会運営等に係る先進地事例の情報収集等を行い、正確かつ円滑な議会運営を支援します。</li> <li>・議会だよりの定期発行、充実及び議会報告会の開催を支援します。</li> <li>・市ホームページへ議会情報を積極的に発信します。</li> <li>・行政視察を積極的に受入れます。（定例会会期中を除く）</li> </ul>												
SDGs指標											達成時期	令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
議会運営の円滑・充実		→												
事務局職員の資質の向上		→												
議会情報の積極的な公開		→												
行政視察の積極的な受入		→												

指標 に対する 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県議長会主催等の職員研修会や常任委員会先進地視察随行を通じて職員の自己研鑽を行い、円滑な議会運営等の支援を行いました。</li> <li>・議会だよりについては、先進地視察を行い紙面内容の充実等も行いました。議会報告会は検討会を開催し次年度開催の方向性を決定しました。</li> <li>・市ホームページでは議案書、委員会活動に加えて新たに政務活動費報告書の掲載決定をし、市民への情報共有を計りました。</li> <li>・行政視察は8件の受け入れを行いました。</li> </ul>	
	評 価	<p>議会だよりの改善及び市ホームページへ議会情報の充実を図ることができた。</p> <p>評価記号 ○</p>
今後の展開	引き続き、正確、円滑な議会運営・議会活動の支援を行うと共に、市民に対して開かれた議会づくり（情報発信）への支援を積極的に行っていきます。	

令和 5 年度 監査委員事務局 組織目標と成果

課名等	監査委員事務局	全体	54
		個別	16-01

総合計画 の区分	挑 戦	対象外
	最優先課題	対象外
項 目		監査等の実施における適正な事務補助
取組の内容		監査委員の事務を補助する組織として、監査委員の指揮のもと公正・中立な立場で行財政の適法性、効率性などを市民の視点でチェックし、特に定期的に行う監査等は、適正で、効率的かつ効果的な行財政運営の確保に資する実効性の高い監査等に取り組みます。具体的には、「対馬市監査実施計画」に基づき監査事務に遅滞のなきよう各種監査（例月現金出納検査、決算審査、定期監査、支援団体等監査等）を行うとともに、「対馬市監査基準」に従って、監査委員が正確かつ効果的な監査等を実施できるよう補助を行います。
指標（数値目標）		○毎会計年度で定期的に行う監査等 ・例月現金出納検査（自治法）…毎月20日以降月末まで（7月を除く） ・決算審査（自治法、公企法）…年1回、7～8月実施 ・定期監査（自治法）…年1回、2月実施 ・財政援助団体等監査（自治法）…年1回、11月実施
SDGs指標		達成時期 令和6年3月
取組とスケジュール		4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
例月現金出納検査		■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
決算審査		■ ■
定期監査		■
財政支援団体等監査		→

指標 に 対 す る 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例月現金出納検査（自治法）…98日間実施し、市長と議長あて報告書を提出しました。</li> <li>・決算審査（自治法、公企法）…10日間各課毎に審査を実施し、意見書を市長に提出しました。</li> <li>・定期監査（自治法）…7日間実施し、市長と議長あて結果を報告しました。</li> <li>・財政援助団体等監査（自治法）…4日間で4団体の監査を実施し、会計処理等の改善や検討を文書で依頼しました。</li> </ul>	
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監査委員の指揮のもと「対馬市監査実施計画」に基づき監査事務に遅滞のなきよう各種監査を行い、財政支援団体等や本市の財務に関する事務について、公正・中立な立場で行財政の適法性、効率性などを市民の視点でチェックし、指摘等を送付しました。</li> <li>・「対馬市監査基準」に従って、監査委員が正確かつ効果的な監査等を実施できるよう補助しました。</li> </ul>
	評価記号	○
今 後 の 展 開	今後も引き続き、監査委員が正確かつ効果的に監査等を実施できるよう補助するとともに補助職員として法令等に関するスキルアップを図り、監査事務における専門性の確保に努めます。	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 5 年度 農業委員会事務局 組織目標と成果

課名等	農業委員会事務局	全体	55
		個別	17-01

総合計画 の区分	挑 戦	対象外											
	最優先課題	対象外											
項 目		農地等の利用の最適化の推進											
取組の内容		<p>農業委員会は農地等の利用の最適化、農地法に基づく農地の売買・賃借の許可などを農業委員と農地利用最適化推進委員が行っております。</p> <p>農業委員会事務局は農業委員を補佐する組織として、農業委員会の中心的な業務である農地等の利用の最適化の推進が円滑に行われるように農業委員及び農地利用最適化推進委員の活動をサポートしていきます。</p>											
指標（数値目標）		<p>① 総会を滞りなく開催します。（許可申請が発生した月に総会を100%開催します。）</p> <p>② 農地利用意向調査及び非農地通知を実施します。（農地利用状況調査で耕作放棄地と判明した件数すべてに意向調査を100%実施します。）</p> <p>③ 研修会を開催します。（年1回）</p>											
SDGs指標								達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
申請に対する総会の開催		→											
農地利用意向調査													→
非農地通知													→
研修会										■			

指標 に対する 実績	<p>①許可申請発生月の総会を滞りなく開催しました。</p> <p>許可申請発生月数8月のうち総会開催月数8月</p> <p>②農地利用意向調査及び非農地通知を実施しました。</p> <p>農地利用状況調査で耕作放棄地と判明した件数559件のうち意向調査実施件数559件</p> <p>③研修会を実施しました。</p> <p>6月、10月実施</p>	
	評価	<p>目標を達成することによって、農業委員会の農地等の利用の最適化の推進活動の円滑化に寄与しました。</p>
評価記号	○	
今後の展開	<p>引き続き、農地等の利用の最適化の推進が円滑に行われるように農業委員及び農地利用最適化推進委員の活動をサポートして行きます。</p>	

令和 5 年度 選挙管理委員会事務局 組織目標と成果

課名等	選挙管理委員会事務局	全体	56
		個別	18-01

総合計画 の区分	挑 戦	対象外												
	最優先課題	対象外												
項 目		投票参加の促進												
取組の内容		選挙制度(期日前投票、不在者投票等)への有権者の理解を深められるよう、対馬市CATV、広報、ホームページ及びSNS等の積極的な情報発信により、投票行動を喚起し、投票率の向上に取り組めます。												
指標(数値目標)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・CATV「おしえて！市役所さん」への出演</li> <li>・広報及びホームページへの掲載</li> <li>・SNS等での情報発信</li> </ul> ※令和6年3月対馬市長選挙執行予定(前回投票率：63.23%)												
SDGs指標											達成時期	令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
情報発信(対馬市長選挙)														

指標 に 対 す る 実 績	令和6年1月に広報つしまで対馬市長選挙について周知しました。 また、令和6年2月には、「おしえて！市役所さん」に出演し投票を呼びかけました。 さらに、公式LINE、Facebook、CATVの文字放送、音声告知放送、マスコミへの情報提供及び市役所6庁舎に横断幕・懸垂幕の掲示を行いました。	
	評 価	早めの周知により、投票率は64.50%と前回の市長選挙を上回りました。
	評価記号	◎
今 後 の 展 開	引き続き、選挙に関する情報提供に努めて投票率の向上を目指します。	